

# 自分を守るお約束！！

## ⑤ できません！

カードおげると  
できません！  
あかし  
たげない？

お願い  
ごと、誘われ  
たら、しっかり  
断ります。「でき  
ません！」の一  
言で断る気持ちは伝  
わります。

ポイント！

## ④ さわられない、つかまれない

あいさつをす  
ることはとても大切  
なことです。でも、相  
手がどんな人でも、手  
が届かない距離を  
とりましょう。

ポイント！

さわらない！

はなれる

## ① ひとりにならない

あんせんスイッチ オン！

大切は自分の心や身体を  
しっかり守りましょう！

ポイント！

子どもたちのコミュニケーション能力を育むために、地域のみなさまとのあいさつなどはとても大切な練習の機会です。また、安全確保のためには、登下校時など、保護者やPTA、地域のみなさまの見守りの中で、「ひとりにならない」環境づくりが欠かせません。子どもたちと一緒にどうしたらひとりにならないかを考えてみましょう。

## ⑥ にげる

「にげる」は、自分で  
決めてよいことです。  
「コワイ」「イヤだ」と感  
じたら、助けてくれる人  
がいるところまでダッ  
シュで走り切ります。  
白ごらの買い物や散  
歩のなかで、助けてく  
れる人がどこにいるの  
か確認しましょう。

ポイント！

助けてくれる人が  
いるところまで  
ダッシュ!!

## ② ひとりになるとき どんなとき？

ポイント！

子どもの行動範囲が広がると、どうしても「ひとりになる」瞬間が生まれます。それは、最も気をつけなければいけない時でもあります。場所や時間にとらわれず、「ひとりになる」瞬間はどんなときでしょうか。

## ⑦ たすけてをつたえる

危険からは「にげる」  
が一番です。そのとき、  
まわり人がいるよう  
であれば声と身体をつ  
かって「たすけて」を伝  
えます。声と身体を使  
って伝えると効果的  
です。また、不安なこ  
となどを周りの大人た  
ちに伝えられる環境づ  
くりも欠かせません。

ポイント！

たすけて！

防犯ブザーは、逃げる、  
助けを呼ぶ時に役立つ道具  
です。おやの届くところに  
身につけて、時々電池の確  
認をしましょう。

## ③ まわりをよくみる、よくきく

ポイント！

まわりに意識を向けることは、危険を寄せ付けず、万が一のとき対応を早めるための「予防力」です。とくに、自宅周辺など慣れている場所は、心や身体に隙(すき)が生まれやすくなるので注意が必要です。「たすけて」が「だるまさんがころんだ」など、簡単なフレーズで習慣にするとよいでしょう。

もし、ヒトりに取ったら、  
まわりをよくみて、よく  
きいて歩きましょう。  
自分のまわりにはどんな  
人(車、バイク、自転車…)が  
いるのか、しっかり確  
認して歩きます。

## あんせんパワーアップ!!

子どもたちを守る  
3つの安全力

子どものちから  
大人のちから(保護者)  
地域のちから

防犯ボランティアは  
地域の安全力を元気にします!

もし、目的について何をしたらよいか迷ったときは、町会や商店会をはじめ、学校、児童館、PTAなどからも意見を聴いてみましょう。地域に着らず人たちの関心事や不安に感じることなどを知らせることは、活動の方向性を決めるためのヒントになります。また、所轄の警察署や自治体の担当部署とも定期的に情報交換や相談などを行い、協力体制を築くことも重要です。

心配な子どもと出会ったら…

ポイント！

あしん距離

あいさつと声かけて  
安全安心をひろげよう!

※ unnecessary 行は、同乗やトランプを置くことなどがあります。  
※ 保護者の許可なく未成年者を連れて行く行為は法律に抵触する恐れがあります。  
※ 別名に就いては、警察に連絡し相談しましょう。